

学習課題：

Note ~ 黒板の内容をただ書き写すのではなく、授業中に考えた内容や先生・仲間の発言もどんどんメモしよう! ~

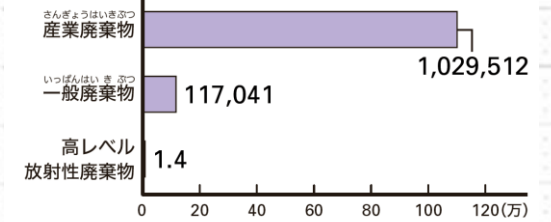
予想・仮説

関連する既習事項

[振り返り]

→ 課題を解決するための“思考の流れ”が分かる記録を残そう!

◎ごみの発生量(トン/1日)



※産業廃棄物及び一般廃棄物：平成30年度実績(環境省HP参照) / 高レベル放射性廃棄物：平成12~18年推定(全体での使用済燃料発生量を年1000トンウランと仮定した場合)
(出所) エネルギー白書2013など

○課題解決：

・新たに生じた疑問、解決したい内容：

・感動したこと、すごいと感じたこと：

★明るい未来を創造するために、自分にできること：

前回の記述からいくつかを抜粋

- 1 今までデメリットの方ばかりに目を向けてしまいがちだったが、メリットにも目を向け、どのようにしたら最大限、活かすことができるか考えることで、新たな視点が見つけれらるんだと実感した。自分で探し、多くの人と交流していく上で、自分の考える力が大幅に伸びている、と実感する!! 1
- 2 再生可能エネルギーは現時点でどれくらい発電できて、本当に2030年までに実現可能なのか。 1
- 3 便利で楽な生活をしていくには、これからももっと多くの電気が必要になっていくはずだけれど、電気の発電量を減らして行って、本当に大丈夫? 1
- 4 再生可能エネルギーの割合が高くなっているけれど、2030年には電気代はどうなるのか。 1
- 5 仲間と交流することで違う角度から物事を考えることができるし、実際、北電の人に話を聞くと新しい発見があった。 1
- 6 ほくでんの方が熱意をもって話をしてくださって、感謝の気持ちと憧れの気持ちが生まれた! 電源構成を考えるのはすごく難しかったけれど、私たちの世代が様々な発電方法のメリットとデメリットをしっかりと理解した上で“考える”ということが、明るい未来を造っていくためにとても意味のあることだと感じた。 1
- 7 水素とアンモニアで電気エネルギーを取り出す実験。森山先生、これできませんか? 水素をつくるためのものもアンモニアもあるし、プロペラで電流が流れるか確認できるし、僕が気になるので! 1
- 8 自分たちを今まで支えてくれて石炭や石油など、資源を大切にしていけることが必要だと改めて感じた。 1
- 9 今こうして電源構成について考えたけれど、きっとこのままではいかずに、技術もどんどん進歩していくと思うし、いろいろなことが常に変化しているので、このエネルギーの授業だけで終わらずに、今後も変わっていく条件のもとで継続して考えていく必要があると感じた。だから難しく、これといった答えがないのかもしれないと思う。 1
- 10 日本政府の電源構成案を見ると、発電量自体が減っている。どのようにして減らすつもりなのかを知りたい。自分で考えて(調べて)答えを導き出す今回のような授業が大切なんだと思う。 1
- 11 カーボンニュートラルとかつて聞いたことがあるが、どのように関係している? 1
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18

Memo 他の方の記述から考えたこと/

<先生から>
・水素、アンモニア発電がこれからの最先端の研究になるかもしれません。興味がありますね。みなさん、研究してみてください!!
https://www.egmkt.co.jp/column/consumer/202301_EG_268.html

◎調べたいこと【

】

調べた内容→

(出典も記すこと)